

# MS304-00005

## GRドアスタビライザー

取付・取扱説明書

この度はGRドアスタビライザーをお買い上げいただき、ありがとうございます。  
使用前に必ず構成部品があることをご確認ください。本書には上記ドアスタビライザーの取付け説明と取扱いについて記載してあります。取付け前に必ずお読みいただき、正しい取付け・取扱いを行なってください。

### 【お客様へ】

ご使用になる前に本書を必ずお読みいただき、常にお手元に置いて正しい取扱方法により、ご愛用くださいますようお願いいたします。

### 【取付け作業をされる方へ】

取付け作業前に必ず本書をお読みいただき、正しい取付けを行なってください。

取付け後は、本書を必ずお客様にお渡しください。

### ■ 適合車種

最新の適合情報は、TRD カタログサイトをご覧ください。 <https://www.trdparts.jp/>

※1 本商品は、必ず登録後の車両に取付けてください。

※2 本商品は、適合車種以外には絶対に使用しないでください。車両の破損や故障など、重大事故を招く場合があります。

※3 本商品は、スライドドアおよびバックドアには使用できません。

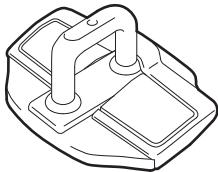
### ■ 構成部品

	部品名	数量	備考
①	ストライカー	2	
②	プレートA	2	
③	プレートB	2	
④	プレートベース	2	
⑤	トルクスボルト (T40)	4	
⑥	取付・取扱説明書 (本書)	1	

※ 本商品は、右側ドアおよび左側ドア各1枚ずつに対応した構成となっています。

※ 確認 本商品到着後は直ぐに開封し、内容物に破損が無いこと、本書に記載されている付属品がすべてそろっていることを確認してください。

①



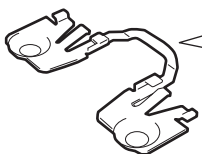
②



③



④

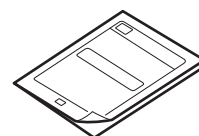


締め付け方法や基準トルクを  
厳守してください。  
(変形してプレートの取付けが  
できなくなります。)

⑤



⑥ (取付・取扱説明書 本書)



## ■ 目次






1 取付けに必要な工具	2
2 取付け・取扱い上のご注意	2
3 ドアスタビライザーの取付け	4
4 お手入れ	6

## ■ 取付けに必要な工具

トルクスレンチ (T30、T40)、トルクレンチ

## ■ 取付け・取扱い上のご注意

この取付・取扱説明書では安全にご使用いただくために、特にお守りいただきたいことなどを、次のマークで表示しています。

 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行なうと、人が死亡したり、重傷などを負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行なうと、人が傷害を負ったり、車両などの物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。
	してはいけない行為
	必ず行なっていただくこと

## △警告

- 本商品を適合車種以外に装着した場合、ドアが完全に閉まりきらない状況となり、走行中のドア閉じ不十分による車両の破損や故障、最悪の場合は走行中のドア開放など、重大事故を招く場合があります。
- ❗ 本商品の取付け作業・部品交換は必ず専門の整備工場で行なってください。取付けを誤ると、ドアの開閉が困難になったり、ドア開放となる場合があります。
- ❗ 取付けの際は、指定トルクに従って各ボルト類を十分に締め付けてください。取付け時に緩みがあると徐々に緩んできて、脱落などにより重大な事故を招くおそれがあります。
- ❗ 取付け後、本商品と他の部品との干渉が無いかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行するとドアの開閉が困難になったり、ドア開放となる場合があります。
- ❗ 本商品装着後に、衝突などの強い衝撃を受けた場合、直ちにご使用をおやめください。取付け部分や本体に、変形や破損、故障を生じ、ドアの開閉が困難になったり、ドア開放となる場合があります。
- ❗ 走行中に異常を感じたら直ちに安全な場所に停車し、取付け部分をよく点検してください。そのまま走行を続けると、重大な事故の原因となる場合があります。
- 本商品への改造・加工は絶対に行なわないでください。破損や、重大な事故の原因となる場合があります。
- 本商品は適合車種向け装着時の安全性（ドアの開閉機能の確保）を十分に検証した商品です。本商品を模した車体の改造・ドア部分の部品の加工などはドアの開閉機構の不具合を招き、車両の破損や故障、最悪の場合は走行中のドア開放など、重大事故を招く可能性がありますので絶対に行なわないでください。

## △注意

- ❶ 車両に付いている純正ボルトなどを再使用する部分については、ボルトが錆びたり劣化したりしている場合、必ず新品に交換してください。本商品の脱落により車両が傷付くおそれがあります。
- ❷ 他社製品による改造箇所がある車両には取付けないでください。本製品の破損により車両が傷付くおそれがあります。
- ❸ ① ストライカーのスライド部に指を挟まないようにしてください。怪我の原因となります。
- ❹ ④ プレートベースの端部の鋭利な箇所にご注意ください。怪我の原因となります。

## 確認

- ・本商品は未登録車両への取付けはできません。必ず登録後の車両に取付けてください。
- ・本商品の取付け、交換の際は該当車両の修理書（トヨタ自動車（株）発行）に従い、本書の注意事項を守って作業を行なってください。
- ・車両部品の取外しに際し、ボルトなどの紛失や混乱が無いように、部品毎に整理し、復元する際、間違えないよう配慮してください。
- ・本商品は各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。

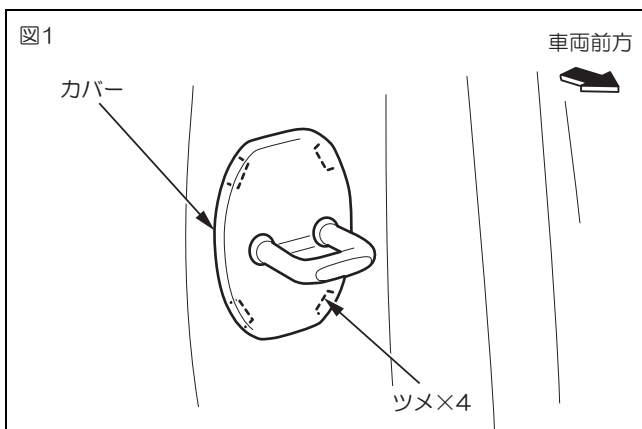
## ■ ドアスタビライザーの取付け

## △注意

- ❶ 取付けの際に本商品を落下させないようにご注意ください。（車両の傷付きとなる場合があります。）

## 👉 アドバイス

以下は右側ドアの作業について説明していますが、左側ドアも同様に作業を行なってください。



## 1. 車両部品の取外し（ボデー側）

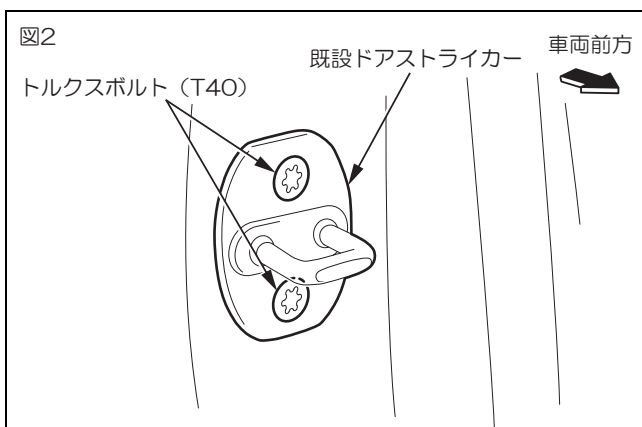
## 👉 アドバイス

既設ドアストライカーにカバーが装着されている車両のみ（1）の作業を行なってください。

（1）図1のようにカバー（ツメ4箇所）を取外す。

## 👉 アドバイス

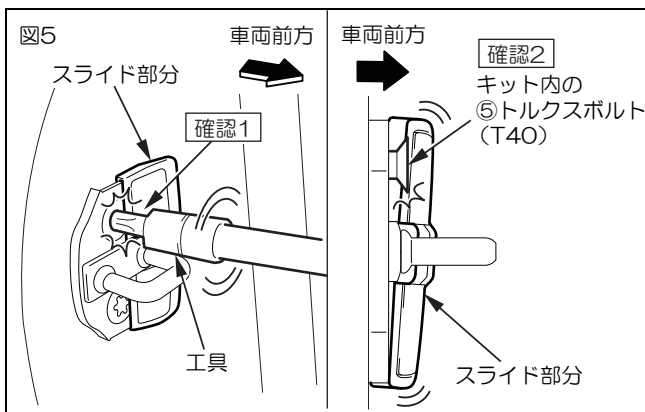
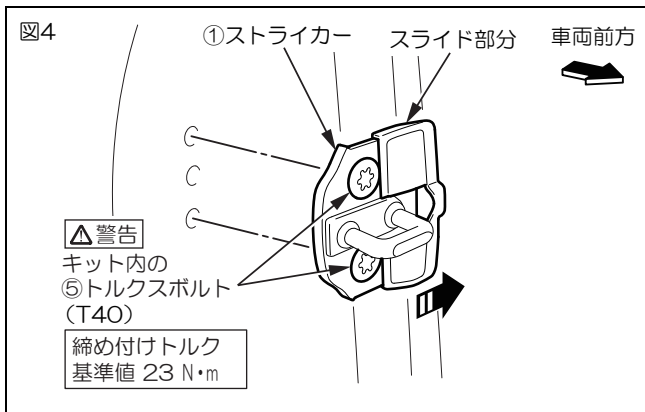
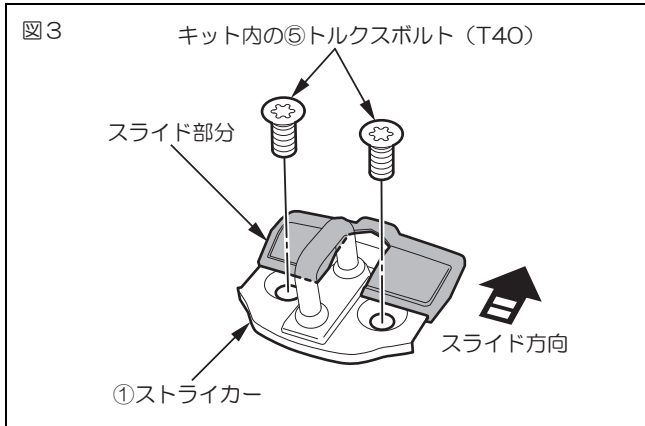
車両により図1とカバーの形状が異なる場合がありますが、同様に作業を行なってください。



（2）図2のように既設ドアストライカー〔トルクスボルト（T40）2本〕を取外す。

## 👉 アドバイス

1. 取外したトルクスボルト（T40）2本は再使用しません。
2. 車両により図2と既設ドアストライカーの形状が異なる場合がありますが、同様に作業を行なってください。



## 2. ドアスタビライザーの取付け (ボデー側)

(1) 図3のようにスライド部分をスライドさせた状態で、①ストライカーにキット内の⑤トルクスボルト (T40) 2本を挿入する。

(2) 車両への傷付き防止のため、①ストライカーが取り付く周囲をマスキングテープで保護する。

(3) 図4、5のようにスライド部分をスライドさせた状態で、車両に①ストライカーを取付ける。

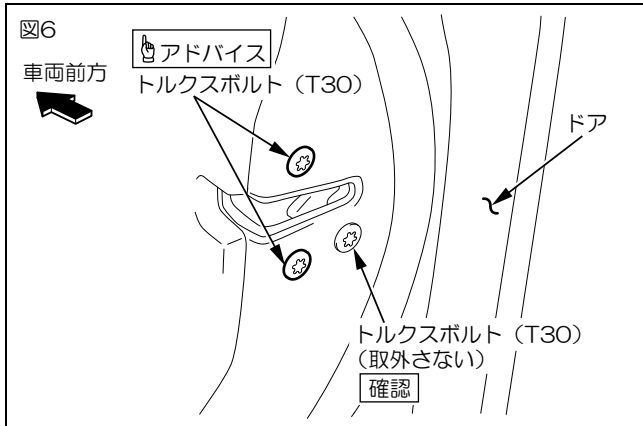
### ▲警告

- ①締め付けトルクを厳守して作業を行ってください。  
(脱落によるドア開放や車両を傷付けるおそれがあります。)
- 基準値 23 N・m

### 確認

1. ⑤トルクスボルト (T40) を締め終わる前にスライドを解除しないように注意してください。  
(スライドを解除した場合、工具との接触によりスライド部分に傷が付くおそれがあります。)
2. ⑤トルクスボルト (T40) は均等に締め付けてください。  
(均等に締め付けなかった場合、スライド部分が破損するおそれがあります。)
3. ①ストライカーの取付け向きにご注意ください。  
(ドアを閉めた際に、本商品が破損します。)

(4) 保護するためのマスキングテープを剥がす。



### 3. 車両部品の取外し（ドア側）

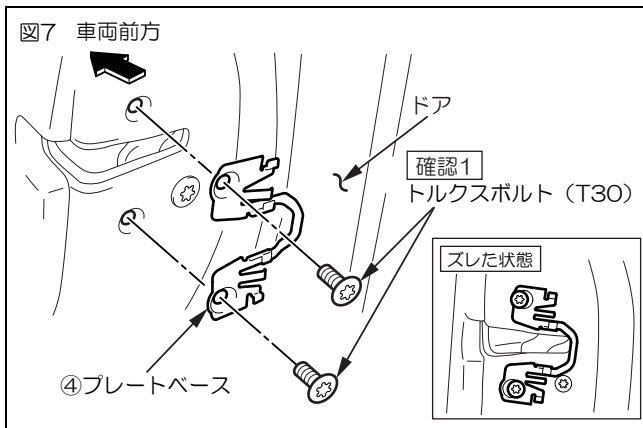
- (1) 図6のようにドアからトルクスボルト（T30）2本を取外す。

確認

右側（左側ドアの場合は左側）のトルクスボルト（T30）は取外さないでください。  
（取外した場合、車両の破損につながるおそれがあります。）

アドバイス

取外したトルクスボルト（T30）2本は再使用します。

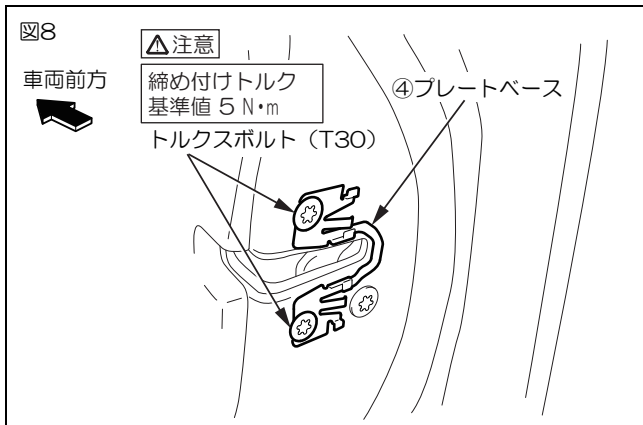


### 4. ドアスタビライザーの取付け（ドア側）

- (1) 図7のようにドアに④プレートベースを再使用のトルクスボルト（T30）2本で仮止めする。

確認

- トルクスボルト（T30）は均等に交互に締め付けてください。  
（均等に締め付けなかった場合、④プレートベースの変形や取付けズレが生じるおそれがあります。）
- 基準トルクが、①ストライカーの締め付けトルクと異なりますので注意してください。



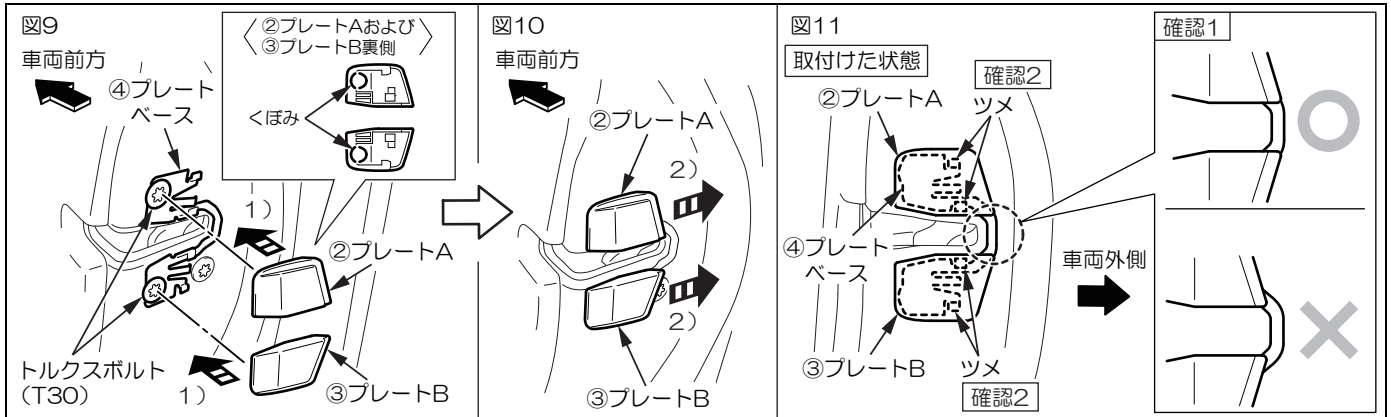
- (2) 図8のようにトルクスボルト（T30）2本を本固定する。

注意

- ①締め付けトルクを厳守して作業を行なってください。  
（脱落により車両を傷付けるおそれがあります。）  
基準値 5 N・m

確認

基準値を超えたトルクで、締め付けしないでください。  
（④プレートベースが変形し、②プレート A および③プレート B の取付けができなくなります。）



(3) 図9、10、11のように以下の手順に従って④プレートベースに②プレートAおよび③プレートBを取付ける。

- 1) ②プレートAおよび③プレートBのくぼみとトルクスボルト(T30)の位置を合わせながら、④プレートベースに②プレートAおよび③プレートBを取付ける。
- 2) ②プレートAおよび③プレートBを右側(左側ドアの場合は左側)にスライドさせる。

#### 確認

1. 取付け後、図11の確認1図の「O」のようになっていることを確認してください。
2. 取付け後、④プレートベースとドアの間に浮きが無いことや、④プレートベースが確実に取付いていることを確認してください。

(4) 本商品取付け後、最初はドアをゆっくり閉めてドア開閉に異常が無いか確認してください。

#### 確認

ドアを閉めた際、ドアに取付けた②プレートAおよび③プレートBが①ストライカーのスライド部分に同時に当たることを確認してください。②プレートAまたは③プレートBのどちらかが先に当たる場合は、同時に当たるように①ストライカーを調整してください。  
(そのまま使用しますと、①ストライカーが破損するおそれがあります。)

#### ■ お手入れ

お手入れの際には、シンナー、ガソリンなどの有機溶剤は使用しないでください。変色、変形の原因となります。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント  
TRD商品問い合わせ窓口  
TEL:050-3161-2121  
<https://www.trdparts.jp/>



# MS300-58004/5 GRメンバーブレース

取付・取扱要領書

この度はGRメンバーブレースをお買い上げ頂き誠に有難うございます。  
本書は本製品の取り付け、取り扱いについての要領と注意を記載してあります。  
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。  
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取り付けは出来ません、取り付けは車両登録後に行ってください。
- 本商品の取り付け作業・部品交換は、必ず専門の整備工場で行ってください。
- 本商品の取り付け作業・部品交換は、必ず該当車両の修理書（トヨタ自動車(株)発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

## ■ 品番・適合車種

品番	車種	備考
MS300-58004	アルファード / ヴェルファイア '23.5~	HEV車
MS300-58005		ガソリン車

・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 <https://www.trdparts.jp/>

※本製品をGRパフォーマンスダンパー®（MS303-58011/12/13/14）と同時装着する場合は、取り付け前にGRパフォーマンスダンパー®の取付・取扱要領書を必ずお読みください。

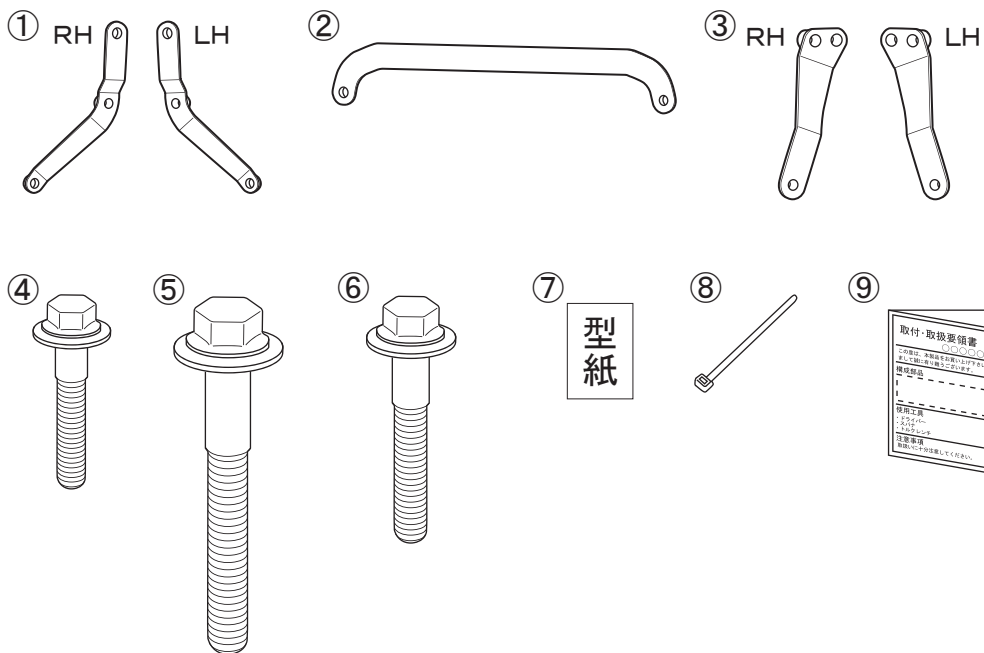
## [MS300-58004 HEV 車]

## ■ 構成部品

No.	品名	個数	備考
①	FR サスペンションメンバーブレース (RH/LH)	各1	
②	FR サスペンションメンバーブレース CTR	1	
③	RR サスペンションメンバーブレース (RH/LH)	各1	t6.0
④	ワッシャーボルトA	4	M12 × 50
⑤	ワッシャーボルトB	4	M16 × 137
⑥	ワッシャーボルトC	4	M14 × 70
⑦	型紙	1	
⑧	結束バンド	2	L184
⑨	取付・取扱説明書	1	本書

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

## ■ 構成部品図





## [MS300-58005 ガソリン車]

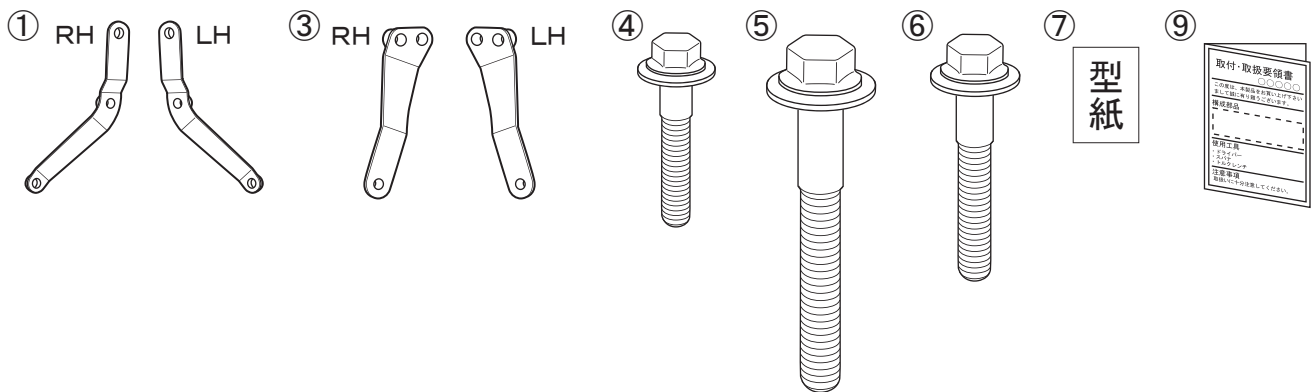
## ■ 構成部品

No.	品名	個数	備考
①	FR サスペンションメンバーブレース (RH/LH)	各1	
②	_____	—	_____
③	RR サスペンションメンバーブレース (RH/LH)	各1	t4.5
④	ワッシャーボルトA	4	M12 × 50
⑤	ワッシャーボルトB	4	M16 × 137
⑥	ワッシャーボルトC	4	M14 × 59
⑦	型紙	1	
⑧	_____	—	_____
⑨	取付・取扱説明書	1	本書

※構成部品番号②および⑧は付属しません。

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

## ■ 構成部品図



## 取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。



### 警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。



### 注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



### アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

### ⊖ やってはいけないこと

### ⓪ 必ず行っていただくこと

### ⚠ 警告

- ⊖ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ⊖ 本商品の分解・加工は絶対しないでください。破損や事故の原因となる場合があります。
- ⊖ 取り付け作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。車両が予期せずに動き、体を挟むなどの重度な事故の原因となります。
- ⓪ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ⓪ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。
- ⓪ 車高を下げた改造を伴う場合、**最低地上高90mm**(注1)を確保してください。  
(注1: 車両のホイールベース、オーバーハングの値によって変わる場合があります)
- ⓪ 車高調整タイプのサスペンションキットを装着した車両で一般公道を走行する場合、路面との干渉にご注意ください。

### ⚠ 注意

- ⓪ 本商品の交換、取り付け作業は必ず設備の整った専門の整備工場で行ってください。
- ⓪ 交換の際は、必ず該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守って作業を行ってください。
- ⓪ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ⓪ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。
- ⓪ 取り付け作業は、必ずエンジンが冷えていることを確認してください。エンジンルーム、マフラーが熱いとヤケドをするおそれがあります。
- ⓪ 取り付け後、本商品と他の部品との干渉を確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
- ⓪ 本商品装着後に、衝突などの強い衝撃を受けた場合は直ちにご使用を中止してください。取り付け部分や本体に変形や破損、故障が生じる場合があります。必ず、整備工場にて点検を受けてください。
- ⓪ 本商品取り付け後、走行中に異常な振動や異音を感じたら直ちに安全な場所に停車してください。そのまま走行を続けると、重大な事故や破損の原因となります場合があります。整備工場にて点検を受けてください。

### 取り付けが終わったら

- ⓪ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ⓪ 作業時にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ⓪ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。
- 不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ至急ご連絡をお願いいたします。

## 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 . . . . . 1～3
2. 取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ） . . . . . 4
3. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図 . . . 5
4. 取付準備、取付要領、締付けトルク一覧表 . . . . . 6～13
5. 取付完了後の点検・注意事項 . . . . . 13

## 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具・トルクレンチ・クリップリムーバー・ケガキ針
- ・加工用工具（・ドリル [φ3.0mm/φ4.0mm]・ホールソー [φ35mm]  
・エアソー・ハサミ・カッター等）・ヤスリ
- ・軍手・保護シート・保護テープ・保護メガネ・マスキングテープ

## 保証について

本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。

（1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

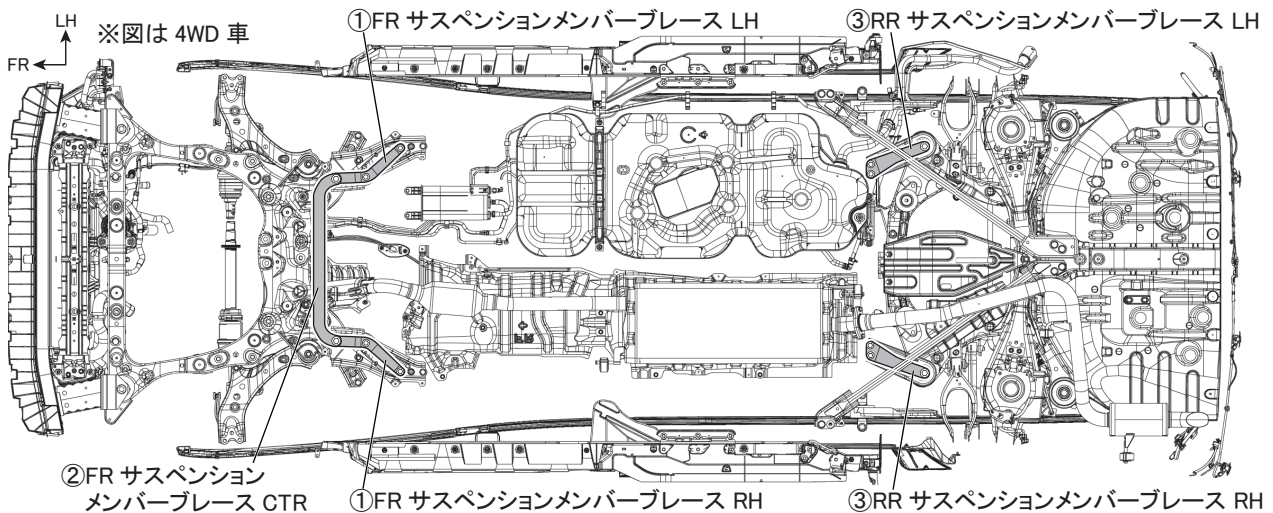
※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<https://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

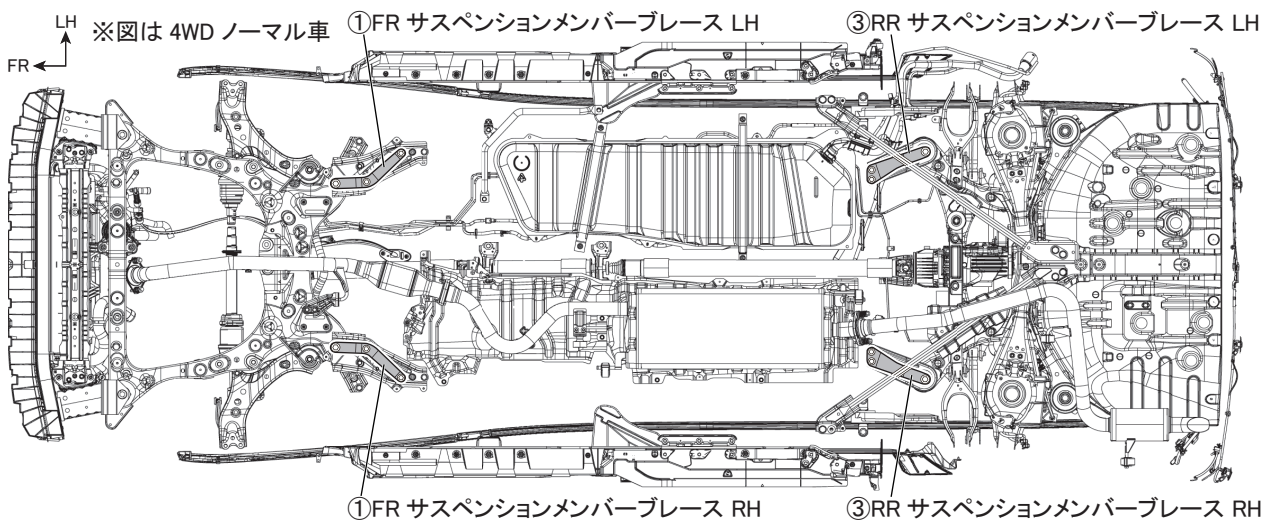
## 取付構成図

下面視 ※図はアンダーカバー非装着状態

### [HEV車]



### [ガソリン車]



## ■ 取付要領

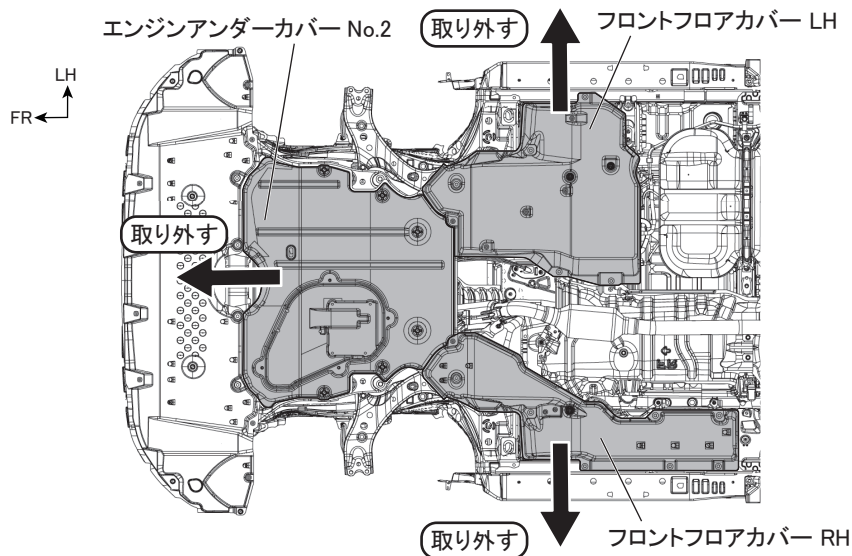
メンバーブレースセット取り付け作業時は、必ず車両下面の適所にスクリーージャッキをあて、作業を行ってください。

### □メンバーブレース取付準備

- 図1のように該当車両の修理書に従い、アンダーカバー類を取り外す。
  - ・HEV車：エンジンアンダーカバー No.2、フロントフロアカバー（RH/LH）
  - ・ガソリン車：フロントフロアカバー（RH/LH）

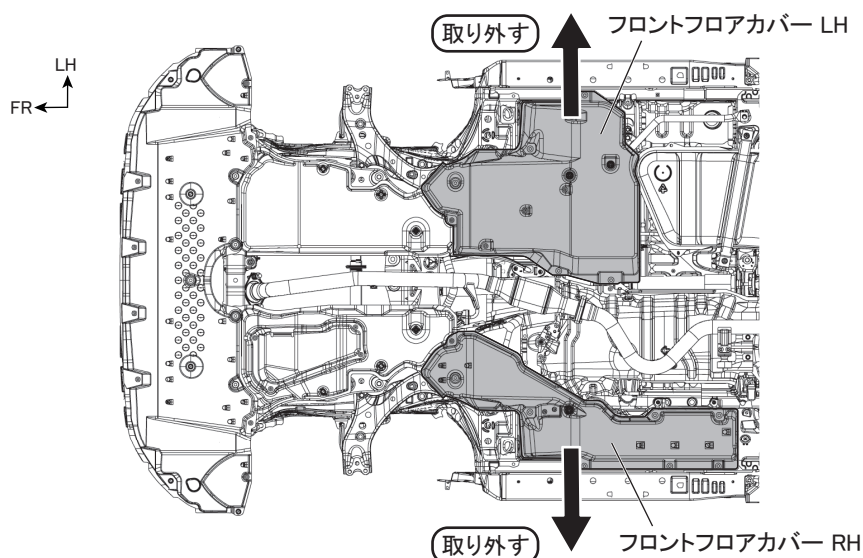
図1 下面視

#### [HEV車]



#### [ガソリン車]

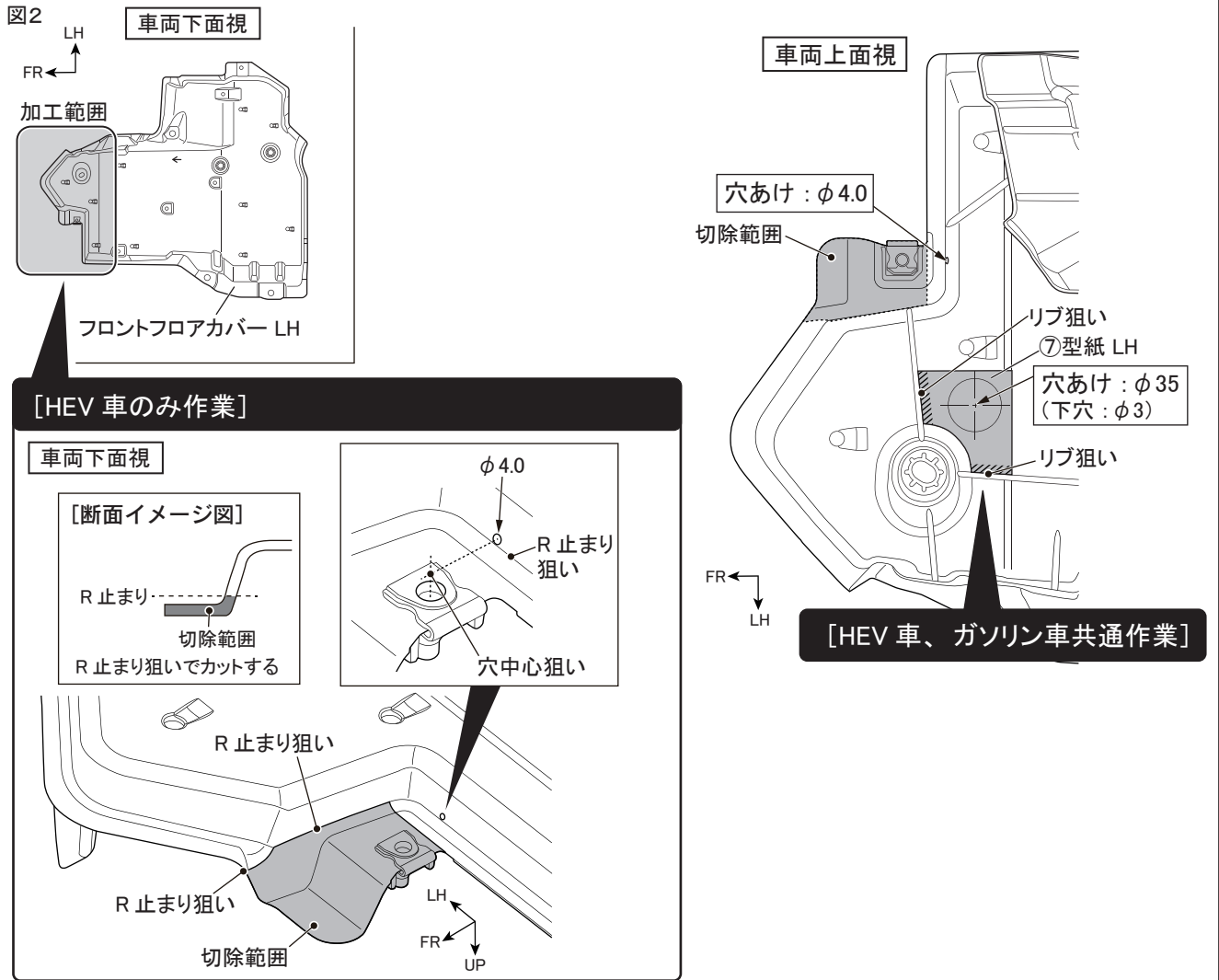
※図はノーマル車  
ターボ車も同様



👉 アドバイス：取り外した車両部品、車両スクルー類は、再使用しますので傷つきや紛失がないよう十分に注意して保管してください。



2. 図2のように⑦型紙 (LH) を使用し、フロントフロアカバー (LH) に穴あけ加工および切除加工をする。  
 ※加工後は⑦型紙 (LH) を剥がし、加工部周囲のバリを除去してください。

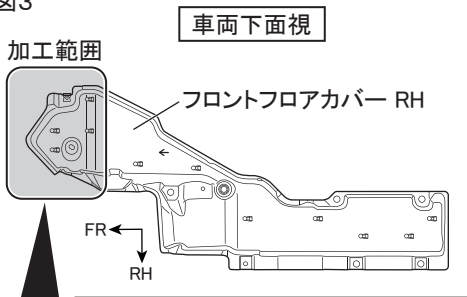


アドバイス : 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

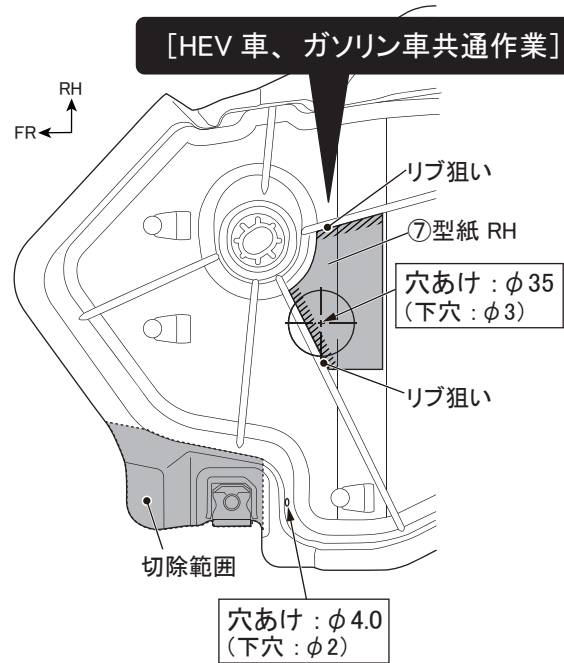
注意 : 作業時は保護メガネを着用してください。

3. 図3のように⑦型紙 (RH) を使用し、フロントフロアカバー (RH) に穴あけ加工および切除加工をする。  
 ※加工後は⑦型紙 (RH) を剥がし、加工部周囲のバリを除去してください。

図3

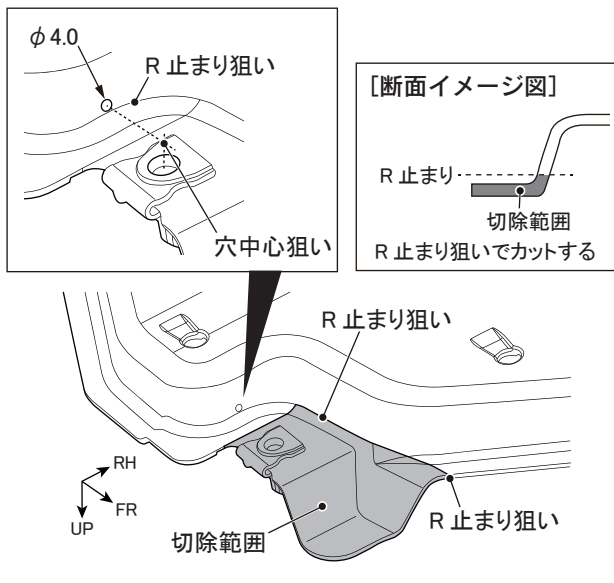


車両上面視



[HEV車のみ作業]

車両下面視



👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

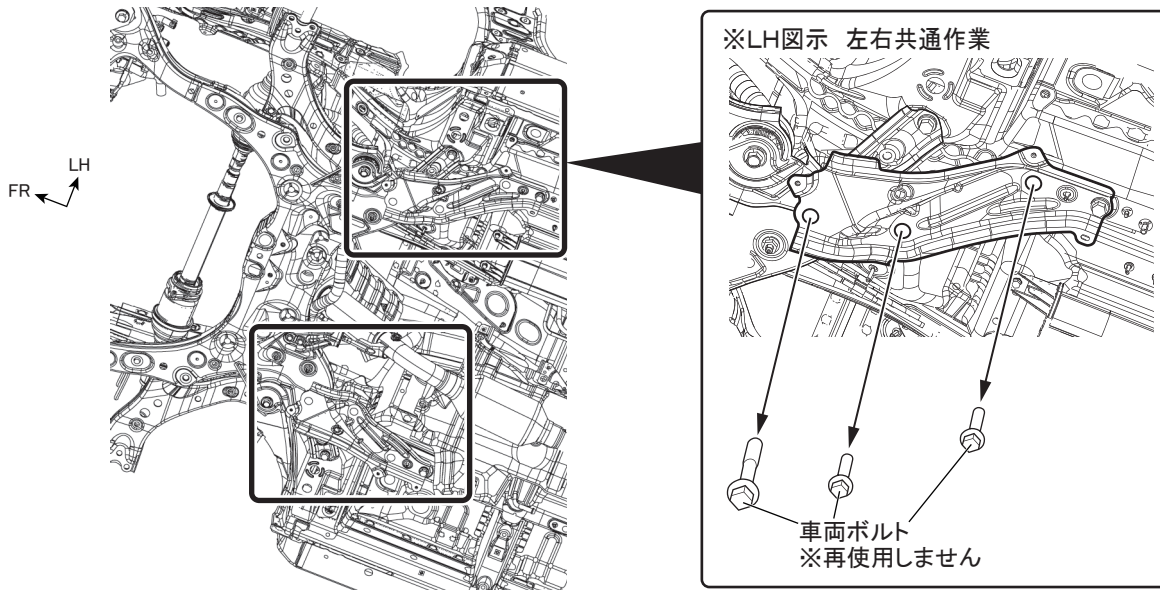


□フロントメンバーブレース取付要領

[HEV 車、ガソリン車共通作業]

1. 図4のように車両下面の図示車両ボルト取り外す。(左右各3箇所)

図4 下面視 ※図は HEV 車、全車共通

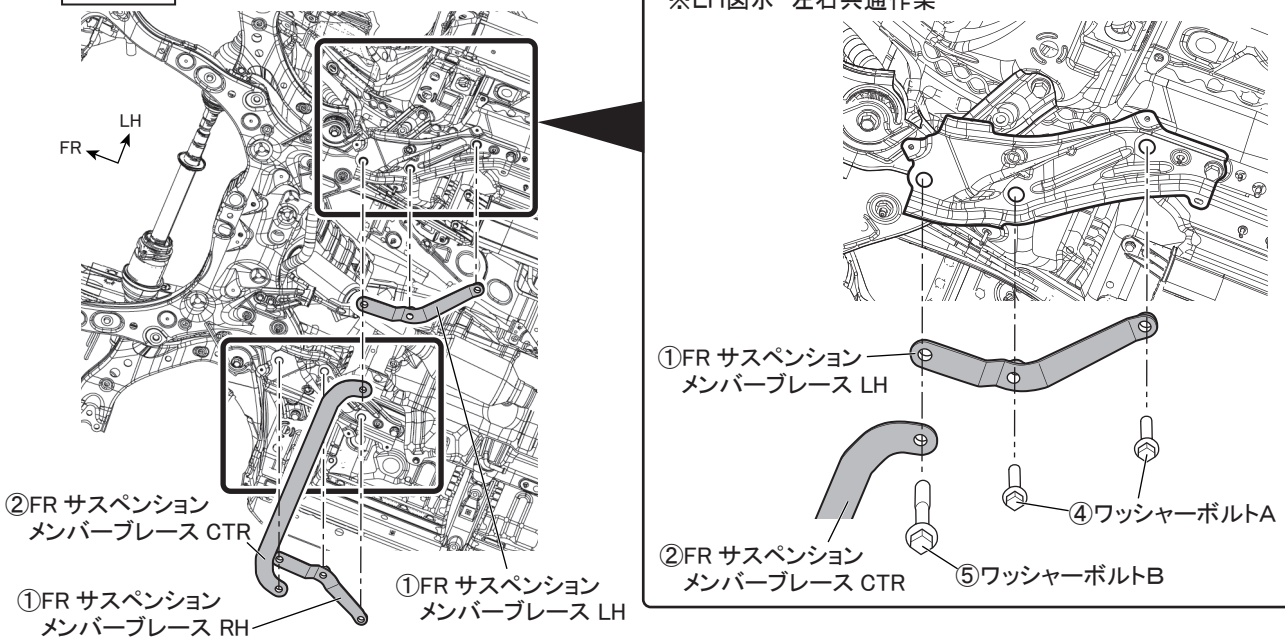


△注意：取り外した車両ボルトは再使用しません。

[HEV 車]※ガソリン車の場合は、10 ページに進んでください。

2. 図5のように車両フロントサスペンションメンバーに①FR サスペンションメンバーブレース (RH/LH)、②FR サスペンションメンバーブレース CTRを④ワッシャーボルトA(左右各2箇所)、⑤ワッシャーボルトB(左右各1箇所)、で仮締めする。

図5 下面視

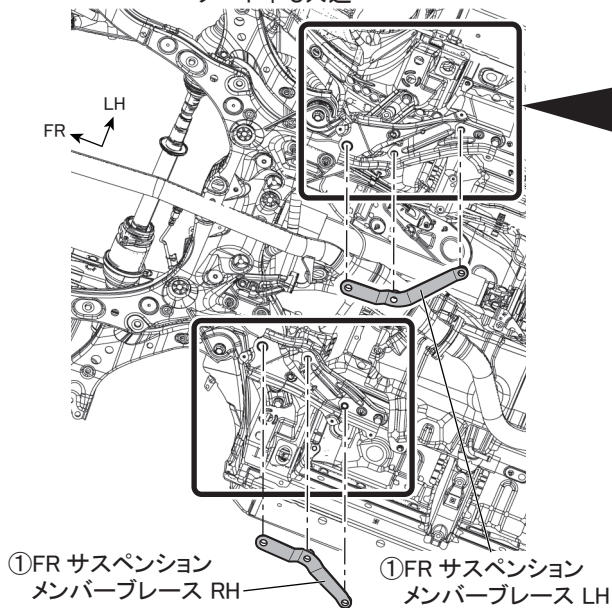


△注意：インパクトレンチは使用しないでください。

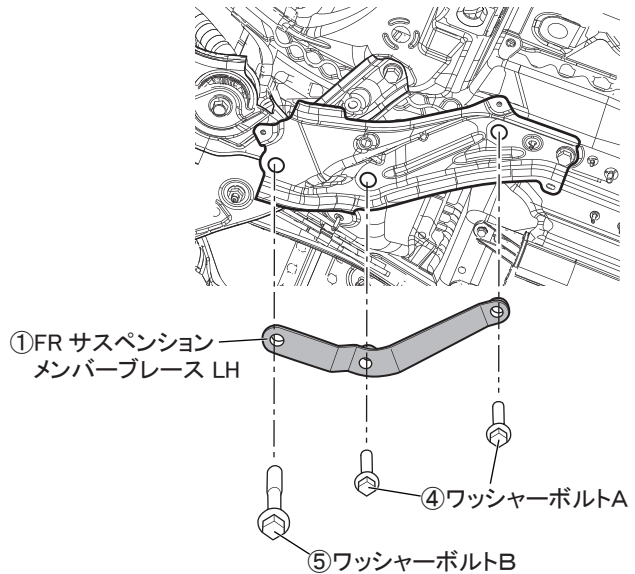
## [ガソリン車]

2. 図6のように車両フロントサスペンションメンバーに①FR サスペンションメンバーブレース (RH/LH) を④ワッシャーボルトA(左右各2箇所)、⑤ワッシャーボルトB(左右各1箇所)、で仮締めする。

図6 下面視 ※図は 4WD ノーマル車、2WD ノーマル車、ターボ車も共通



※LH図示 左右共通作業



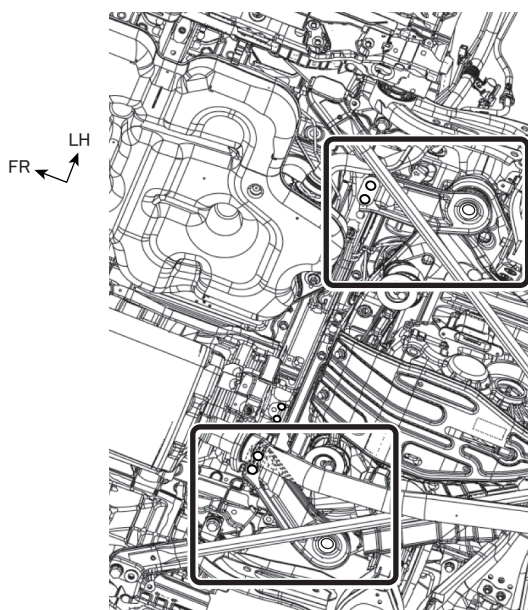
⚠ 注意：インパクトレンチは使用しないでください。

## □リヤメンバーブレース取付要領

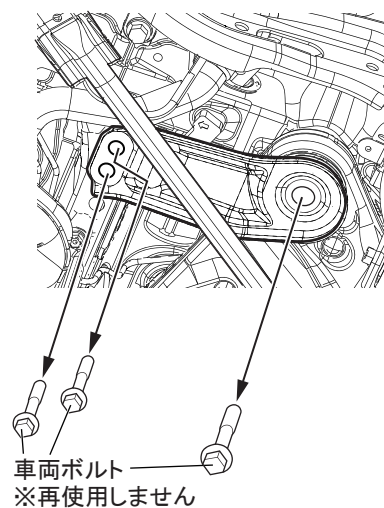
## [HEV車、ガソリン車共通作業]

1. 図7のように車両下面の図示車両ボルト取り外す。(左右各3箇所)

図7 下面視 ※図は HEV 車、全車共通



※LH図示 左右共通作業



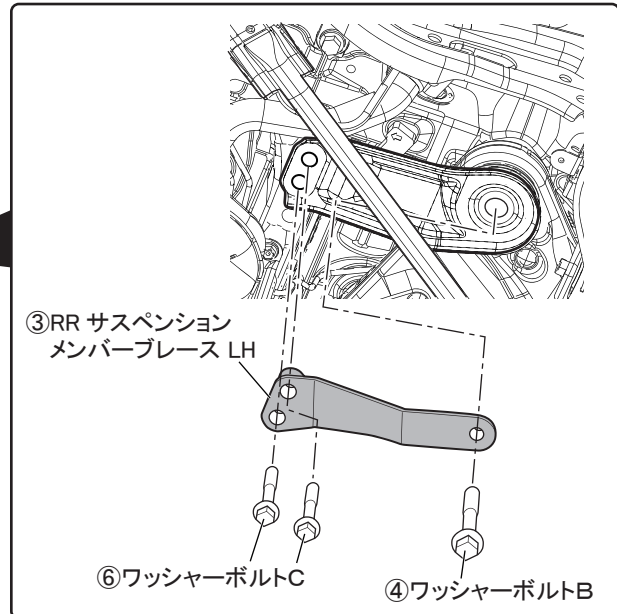
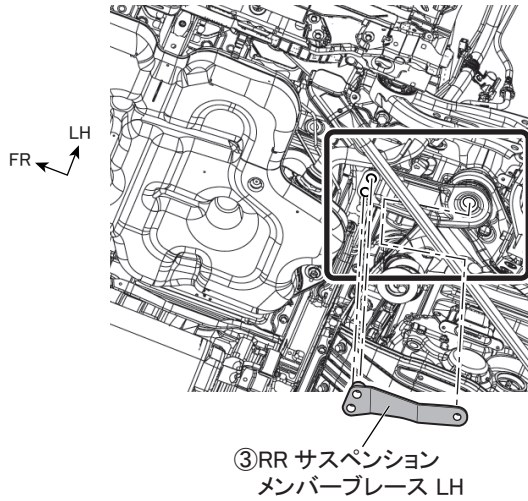
⚠ 注意：取り外した車両ボルトは再使用しません。

2. 図8のように車両リヤサスペンションメンバーに③RR サスペンションメンバーブレース (RH/LH) を⑤ワッシャーボルトB(左右各1箇所)、⑥ワッシャーボルトC(左右各2箇所) で仮締めする。

図8 下面視 ※LH図示 左右共通作業

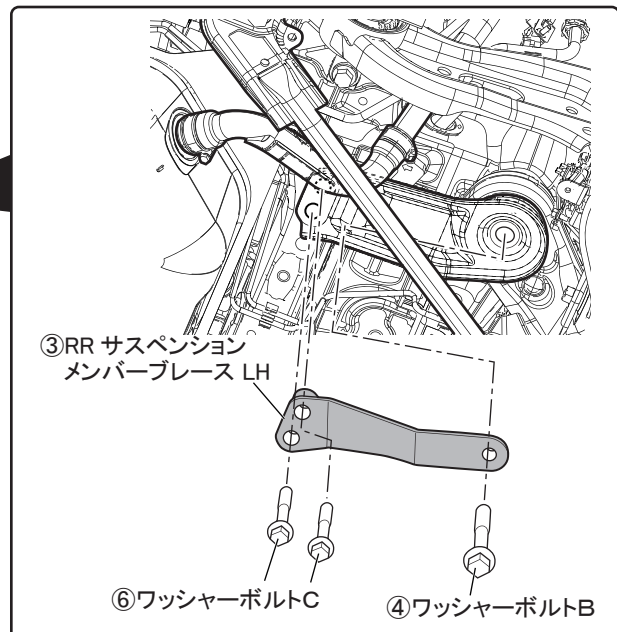
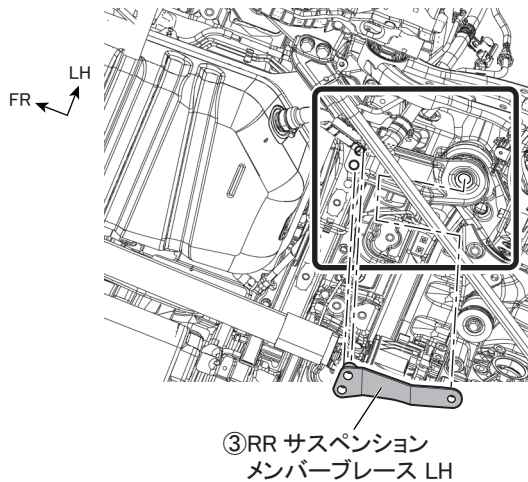
[HEV 車]

※図は 4WD 車、2WD 車も共通



[ガソリン車]

※図は 4WD 車、2WD 車も共通



⚠ 注意：インパクトレンチは使用しないでください。

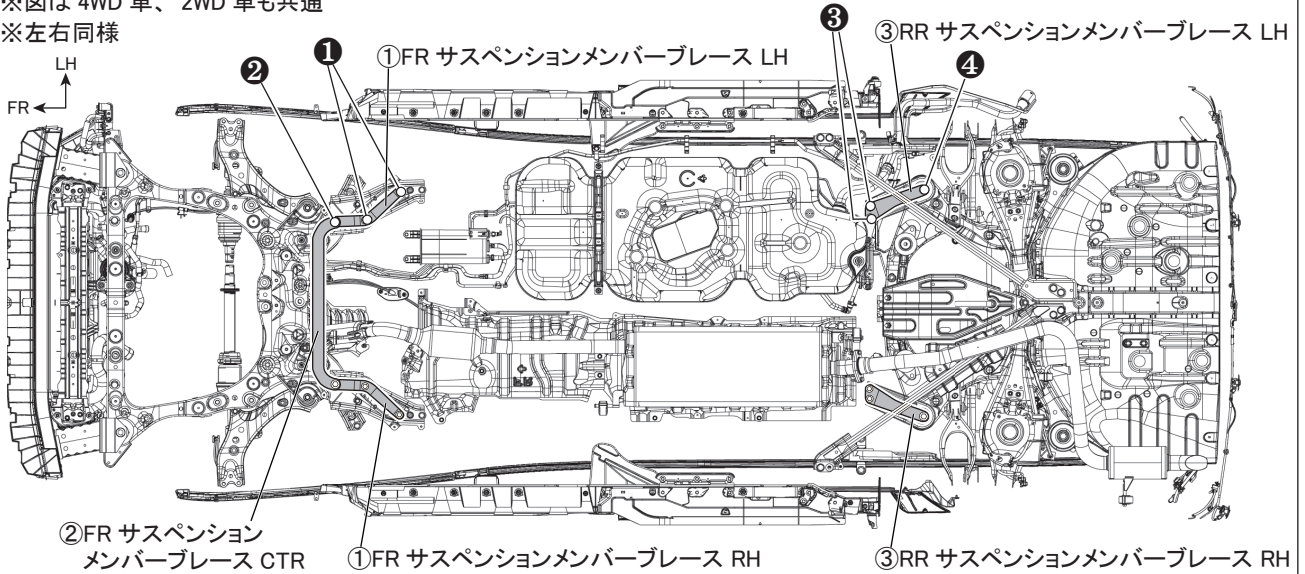


3. 図9のように車両を作業ピットまたは乗り上げ式プレートリフトに移動し、サスペンションに車両の荷重が掛かっている状態（1G状態）にして各ブレースの仮締めした④ワッシャーボルトA、⑤ワッシャーボルトB、⑥ワッシャーボルトCを指定トルクで本締めする。（締め付けトルク一覧表参照）

図9 下面視

## [HEV車]

※図は 4WD 車、2WD 車も共通  
※左右同様

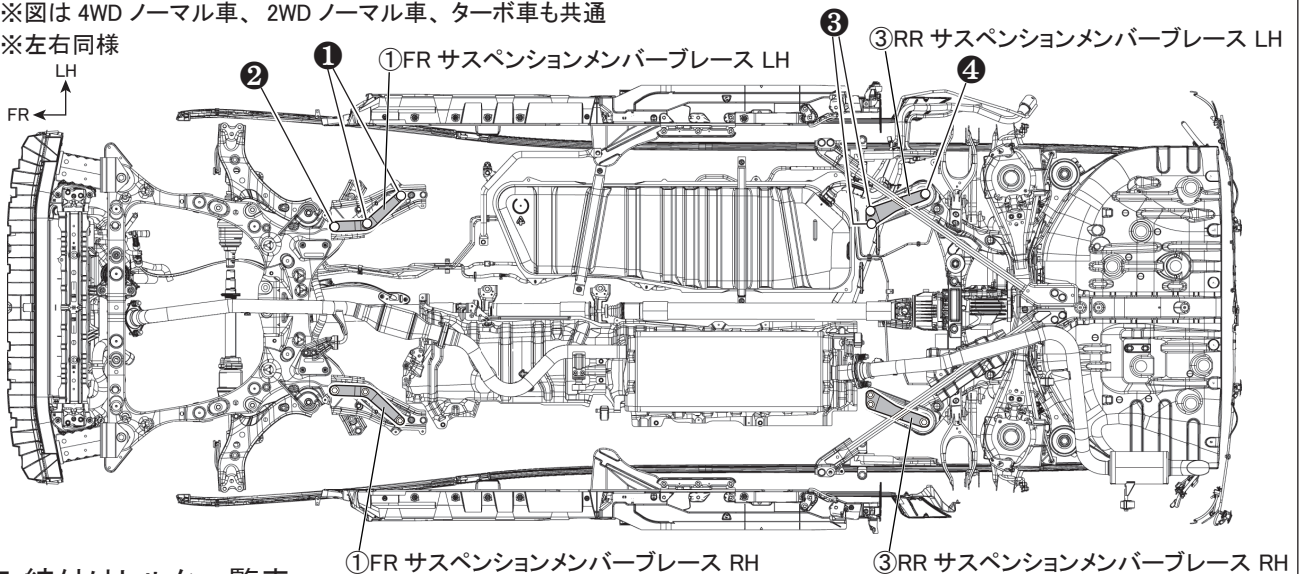


## ■ 締め付けトルク一覧表

	取付部位		構成部品 No.	サイズ	締め付けトルク	
＜フロント＞	車両、①FR サスペンションメンバーブレース (RH/LH)、	SECTION ①	④ワッシャーボルトA	M12×50	70.0N・m	□
	②FR サスペンションメンバーブレース CTR	SECTION ②	⑤ワッシャーボルトB	M16×137	135.0N・m	□
＜リヤ＞	車両、③RR サスペンションメンバーブレース (RH/LH)	SECTION ③	⑥ワッシャーボルトC	M14×70	125.0N・m	□
		SECTION ④	⑤ワッシャーボルトB	M16×137	165.0N・m	□

## [ガソリン車]

※図は 4WD ノーマル車、2WD ノーマル車、ターボ車も共通  
※左右同様



## ■ 締め付けトルク一覧表

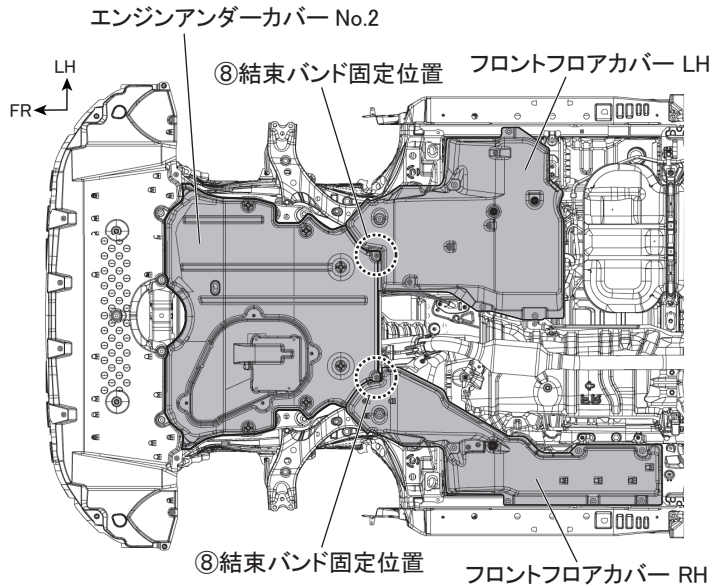
	取付部位		構成部品 No.	サイズ	締め付けトルク	
＜フロント＞	車両、①FR サスペンションメンバーブレース (RH/LH)	SECTION ①	④ワッシャーボルトA	M12×50	70.0N・m	□
		SECTION ②	⑤ワッシャーボルトB	M16×137	135.0N・m	□
＜リヤ＞	車両、③RR サスペンションメンバーブレース (RH/LH)	SECTION ③	⑥ワッシャーボルトC	M14×59	125.0N・m	□
		SECTION ④	⑤ワッシャーボルトB	M16×137	160.0N・m	□

4. 該当車両の修理書に従い、アンダーカバー類を復元する。
- ・ HEV 車：エンジンアンダーカバー No.2、フロントフロアカバー（RH/LH）
  - ・ ガソリン車：フロントフロアカバー（RH/LH）

#### [HEV 車のみ作業]

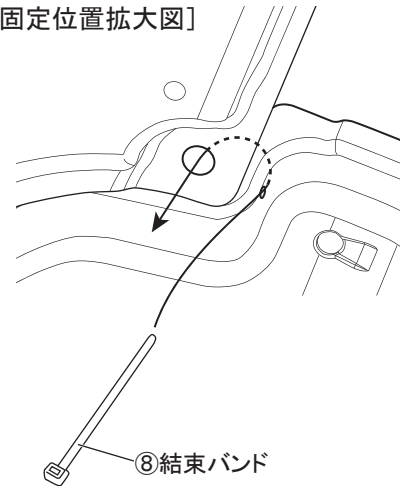
5. 図 10 のようにフロントフロアカバーにあけたφ4.0 加工穴とエンジンアンダーカバー No.2 の穴に⑧結束バンドを通して固定する。（左右各1箇所）

図 10 下面視

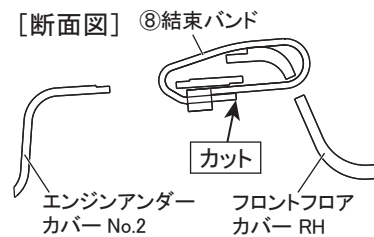


※RH図示 左右共通作業

[固定位置拡大図]



[断面図]



#### ■ 取付完了後の点検・注意事項

1. 取り付け後数キロの走行を行い、各部に干渉が無いこと、異音等がないことを確認してください。
2. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。  
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。
3. 装着後は、定期的（定期点検時等）に取付け部に緩みなどが無いことを点検してください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント  
TRD 商品問い合わせ窓口  
TEL:050-3161-2121  
<https://www.trdparts.jp/>

